

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 黒崎作成日: 令和 5 年 9 月 25 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍で会議の開催や自粛を、状況判断して行っている。コロナ収束後は会議再開に向けた委員の確保と増員にも努めていく。また、運営推進会議を地域貢献に繋げる機会としても活用していく。	委員の増員に努め、対面での会議では、各専門職によるミニ勉強会や地域の困り事の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	夜間の災害時に、夜勤者1人で9名の利用者を、安全に避難場所に誘導するための訓練に取り組む、夜勤者が冷静に、迅速な避難誘導が出来るように訓練していく。	職員が利用者役になって行う少人数での訓練を実施し、非常災害時の動きの確認を行うと同時に、近隣事業所や近くに住む職員、地域住民との協力関係も確認していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。